



「2023年 新年好 xin nian hao !!」  
 \*日中平和友好条約締結45周年を新たな飛躍に\*  
 富谷市日中友好協会 会長 中山耕一



富谷市日中友好協会の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年もコロナ禍の影響による制限の中、様々な活動にご尽力いただき感謝申し上げます。引き続き大変な年でありましたが、日本代表のサッカーチームがワールドカップで大活躍し、日本国中に感動をもたらしてくれるなど、良いこともありました。大リーグで野茂選手が活躍して以来、野球のみならずサッカーやバスケットボールなど、海外で活躍する日本の選手が多くなりました。スポーツ分野での国際交流です。様々な国の文化や環境の中で、人々との交流やスポーツを通じて自分を磨き、世界に通用するプレーヤーの存在は、国境を越えての交流の意義をも示してくれております。

日本と中国の一般市民の交流を目指し実践している私たちの対話・交流によりお互いを理解し尊重し合う活動も、あらためてその重要性を再認識する所です。また昨年は岸田総理と習主席の対談も行われ、今年は各機関の相互交流に期待が高まっています。本年は「日中平和友好条約」締結45周年の佳節でもあります。その意味においても、一層の飛躍を期してまいりたいと思っております。この一年も皆さんにとりまして幸多い年でありますよう、祈念いたします。

日本と中国の一般市民の交流を目指し実践している私たちの対話・交流によりお互いを理解し尊重し合う活動も、あらためてその重要性を再認識する所です。また昨年は岸田総理と習主席の対談も行われ、今年は各機関の相互交流に期待が高まっています。本年は「日中平和友好条約」締結45周年の佳節でもあります。その意味においても、一層の飛躍を期してまいりたいと思っております。この一年も皆さんにとりまして幸多い年でありますよう、祈念いたします。

卯年の一言  
 「株を守りて兎を待つ」一日本の童謡「待ちぼうけ」でも知られる。旧いやり方にこだわって融通が利かないこと。また偶然の幸運を再度望むような甘い考えの譬え。(『韓非子』)

§ 第2回理事会で協議、「新春の集い」は中止に §

12月16日に本年度、第2回の理事会が「とみプラ」で行われました。「写真展」「街道まつり」の総括の後、「新春の集い」(1月22日が春節)については、県内のコロナ感染の状況を踏まえ、残念ながら中止とすることになりました。

また2023年の行事日程も検討され、6月18日(日)に定期総会を行う予定になりました。

第2回「日中友好日本語発表会」行う  
 オンラインで国内外50名が参加



県協会オンライン委員会が主催し、12月11日に国交正常化50周年・宮城吉林省友好都市締結35周年の意義を込め開催されました。

櫻井委員長、佐々木会長のあいさつの後、5名の発表者が日本語で“宮城”に関連したスピーチを行いました。オンラインでの参加者は宮城の他、北海道、山形、東京、神奈川から、国外では中国(北京、上海、瀋陽、西安)、台湾、韓国からの参加があり、美しい日本語また内容もレベルが高く「順位がつけられない」「宮城をこのように見ているのか」「あらためて宮城を思う機会になった」との声も。最優秀賞には富谷・街道まつりにも参加した東北大生の胡秉真さんが選ばれました。(Y)



『中国大陸大全』(ヤンチャン著 KADOKAWA 1650円)

中国旅行がままならない今、若者に大人気のYouTuber楊小溪さんが中国各省等の33地域の暮らしと文化を紹介した本書で初夢旅はいかが。“中国の事をもっと知ってほしい”と「ヤンチャンCH」を運営。自身の体験や友人の声で特色、観光、名物料理、県民性などを紹介してきたものをまとめたもの。読みやすく、意外な情報も多く、楽しい。例えば「省名と同じ名の市があるのは吉林省だけ」「天津飯は存在しない。肉まんとクレープとお笑いの都市」「重慶はモノレールに乗るだけでも観光」等。

